

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760

ガバナー月信 13 (2001.6.20発行)

2000-2001

国際ロータリー第2760地区 ガバナー 福田 清 成
〒483-8205 愛知県江南市古知野町小金112(江南商工会館内)
TEL.0587-52-5200 FAX.0587-52-5252
E-mail governor00-01@rotary2760.org

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

—— 6月はロータリー趣味・職業別親睦活動月間です ——

クラブ会長・幹事の皆さんへ.....	1
ご協力ありがとうございました.....	3
RI 規定審議会に出席して.....	4
RI 2320地区への派遣を終えて.....	5
春日丘高等学校インターアクトクラブ認証状伝達式.....	6
委員長会議・クラブ行事報告.....	7
ローターアクト年次大会報告.....	8

目次

ガバナー補佐活動報告.....	9
地区委員会活動報告.....	13
一年間お世話になりました(スタッフコメント).....	19
東・西尾張分区で美術展.....	21
新入会員報告・新ポール・ハリス・フェロー・特別寄付報告.....	22
出席報告.....	23



何よりも
自分の子どもを
心から信頼して
たえずプラスイメージを
送りつづけることです

クラブ会長・幹事の皆さんへ

Who Touched You? =二人の恩師に想う=

R I 2760 地区ガバナー 福田 清成

会長・幹事の皆さん、 一年間ありがとうございました。ロータリーに対する十全のご尽力に感謝致します。いつか申し上げたかと思いますが、ロータリアンになって下さること、あり続けて頂いていること、そのこと自体が素晴らしいことです。よく歌をうたって会食しているだけではと言われます。しかしそれによって奉仕の理想・超我の奉仕は無意識の中にゆっくりと入って参ります。他の人への優しさも一層拡がってゆきます。忙しい毎日ではつい忘れがちな人間的な想いがふつと心の中をよぎることでしょう。多くの会員か、深い交わりのうちに満ちたりた楽しい気分にひたっておられるのではないのでしょうか。この心地よさ、心の安らぎを未だ知らない人々にそっと教えてあげる、又楽しからずやです。

昨年2月、 国際協議会の第2日目、リチャード・キングはWho touched you?と会場に話しかけました。すぐに叔父と、叔父と私の共通の恩師である丹羽喜代次先生の二人を思い浮べました。叔父は江南ロータリークラブ

設立の文字通りキーメンバーであり、森パストガバナーの分区代理をいたしました。心からロータリーを愛し楽しんだ人でありました。学生時代いわゆる当時の進歩的思想に共感していたようでしたから、復員後、食品会社を始めた私の父を助けての会社経営は、平等思想とは時に相容れない面が生じ迷う場面もあったと想像されます。そんな中

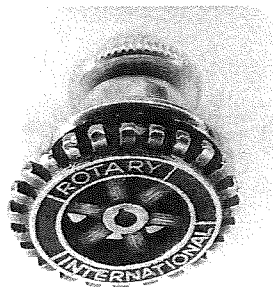
で出会った職業と「奉仕」に関するロータリーの哲学は東洋思想とも結びつき、大きな救いとなったのでしょうか。仕事に、ロータリーに、自信を持って活躍していた姿がまざまざと思いおこされます。

その叔父がロータリーへ 入るように言ってくれた時は本当に嬉しく思いました。卒業までの数年間はJ

C仲間との付き合いに夢中でしたから、しばらくは会社の仕事に専念するようにとの親心からだったのでしょうか、なかなか入会するようには言ってくれませんでした。職業との関係を十分に理解せず、プログラムの表面的な華やかさだけにのめり込んだら、それは全くロータリーではなくなってしまう。入会の日に、何故かクラブ創立時の



エンブレムをプレゼントしてくれました。ずっと後になって、叔父の「GF」のイニシャルがエンブレムに綴られていることに気付き、ロータリーへの思いが、それまでとはまた少し違ってきました。幹事になった時には古い手続要覧を、会長の時にはアンダーラインの入った「ロータリーモザイク」を譲り受け、今も時々使っております。



(福田源一氏メモリアルバッヂ)

要は先生方の学園に対する献身的努力があつてのものです」先生の晩年の言葉は、これからの時代にとっても依然とし

て大きな意味をなすものと思います。個性とか個人の能力がもてはやされればされるほど大事にすべき価値観ではないでしょうか。私の机の引出しに、先生から頂いた葉書が入っております。マッカーサー元帥御自作のポエムが記されています。

There's much that lies within
the reach of life in every field,
which if intelligently tilled,
will a rich harvest yield.

(この世の中のどんな所でも気をつけて耕せば、豊かな収穫をもたらすものが手の届く範囲内に沢山ある。)

自分の人生はこれでよいのか、自分の進路は間違っていないかどうか、現代のように目まぐるしく変化する社会においては特に考えることであります。生産の仕組み、流通の仕組み、あらゆる大きな変貌を遂げており、しなやかに

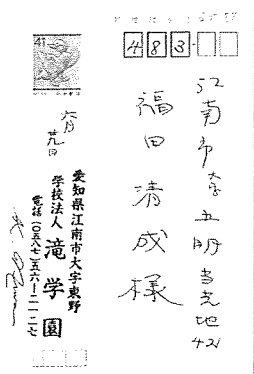
適応しなければなりません。時には全面的な転進も必要です。でも同時にこの詩も大きな力を与えてくれます。ゆるぎない平らな気持ちというものもまた大切なのです。

中高時代、そして卒業後

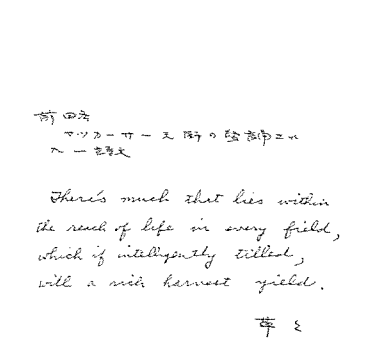
期間にわたって、叔父と同じ私立学校の同じ先生に教えることができたのは全く幸せでありました。その丹羽喜代次先生は信念の人でありました。戦前、当地方出身のすぐれた経営者の郷土を思う心によって建てられた実業学校を、きびしい苦難の中で徐々

に進学校へと導かれた先生の献身的な努力は教職員・生徒・父兄の絶大なる信頼を得て、目覚ましい結果を生み出しました。英語と数学を担当しておられましたが、教頭・校長になっても生徒の学習に関与することをやめられませんでした。ともすると暗記を軽視

する風潮が出てきますが、迷いなく徹底した暗誦を生徒に強いられました。



(丹羽喜代次先生からの葉書)



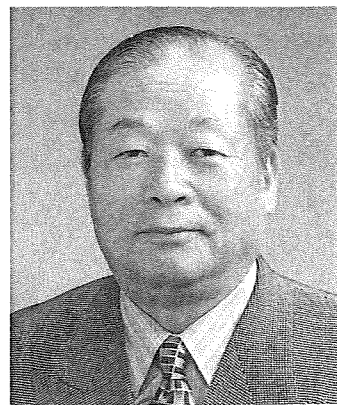
丹羽先生は 高商卒業と同時に、時を同じくして創立された実業学校に奉職され、86歳で学園長を辞されるまでの60余年、只管、受験生を教える事に打ち込まれました。生徒を助け上級学校へ合格させることを最大の喜びとされ、人を育てることこそが人生において一番価値のあることとされました。そして大きな業績はチームワークによってなされると感じておられ、チームのメンバーを限りなく愛し信頼しておられました。「我々日本人が学校教育によって学び取った大きな教訓は、個人が集団に捧げる忠誠心、献身の美德であります。これこそ日本が経済大国に成長した大きな一原動力だと信じます。本学園の素晴らしい成果も、

丹羽先生の教え、叔父の私に対しての気持ちは

ロータリーの理想の根元をなすものではないでしょうか。いつまでも完成しないであろう調和を求めてあくなき努力をし続けるのが人の世、人の道のように思われます。先は暗いと思えば暗いし、未来は明るいと思えば明るいのであります。絶対の不幸せもなければ、全くの幸せもないといえます。ロータリーが求めているように、知り合いを広めて良い方向へ進んで参りましょう。皆様、一年間意識を喚起し進んで行動をして下さり、本当に有難うございました。

ご協力

ありがとうございました



地区幹事 伊藤 鶴 吉

歴史と伝統ある第2760地区の地区幹事を、 20世紀から21世紀をまたいで勤めさせていただきました。

福田清成ガバナーの補佐役に徹して、私なりに全力疾走の一年間でしたが、愛知県下全域の78クラブを訪問、多数のロータリアンにお目にかかって友情と親睦を深め、多くを学ぶことが出来たことは大きな収穫だったと実感しております。

皆さまから賜りましたご指導、ご協力に心から感謝を捧げるものであります。

振り返ってみますと、 PETS（会長エレクト研修セミナー）で出航した福田丸は、地区協議会、地区委員長会議、ガバナー補佐会議と順調な航海を続けてまいりました。



伊藤地区幹事夫妻（地区大会会場）

ガバナー 公式訪問

では、どのクラブも奉仕活動を中心にすえての企画と実践で多くの成果をあげられ、40回におよぶ例会では、それぞれ地域の特徴を打ち出されておられることに感銘いたしました。

地区大会では、名古屋和合ロータリークラブが英知とアイディ

アをしぼった見事な企画運営で、3,300人余の参加者の心に残る催しでした。

福田ガバナー年度は、**豊橋ロータリークラブの創立50周年記念をトップに、** 18クラブが、それぞれの節目を迎えられたメモリアルな記念例会であり、飛躍を誓い合う一年で、メディアでも大きく取り上げられました。

I M（インターシティミーティング）は、 分区をふまえた研修内容で、立派な講師による素晴らしい講演が印象に残りました。

また4月には、春日丘高校インターアクトクラブが誕生し、新世紀をになう青少年がボランティアと自己開発に目覚めたことも大きな喜びで、若い人を育てることもロータリアンの責務と改めて考えられました。

インターアクト、RCC、ライラセミナー、GSE、ロータリーアクト活動は、ロータリアンの側面からバックアップと、ホストクラブのご尽力、ご協力でこそ成果があるものと思いました。

ロータリー財団では新しく、地区ではじめて同額補助金制度の活用が実りました。

米山奨学委員会では、多くの奨学生をお世話していただきましたホストクラブならびにカウンセラー、ホストファミリーの方々に厚くお礼申し上げます。

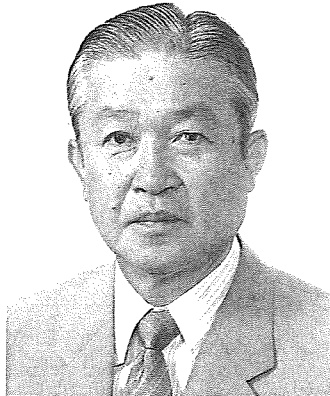
地区委員の皆さんのご協力で、各クラブと連携のもと委員会活動も立派に推進され、RI会長賞も多数のクラブが受賞の誉に喜んでいます。

ロータリアンから、激励のお手紙や電話もたくさんいただき、鈴木、森、神野、内田、片山、岩間、内藤の歴代の、地区幹事の皆さんには地区運営について親切にご指導ご協力をいただきまして感謝です。

いま、航海を終えた福田丸は静かに錨を下ろそうとして、寛容な皆さまのご理解とご精進に接し敬意とお礼のごあいさつに代えさせていただきます。一年間ご協力ありがとうございました。

R I 規定審議会に出席して

国際ロータリー第2760地区 パストガバナー 加 納 泉
(名古屋中RC)



2001年度の規定審議会(Council on Legislation)は4月21日から27日までの7日間、シカゴ(Chicago)のマリオット・ダウンタウンホテルにて開催されました。世界528地区からの代議員と会長、会長エレクト、理事(17名)、事務総長、定款委員、顧問弁護士(3名)、特別会員の代表者約600名の会議でした。

22日(日)から27日(金)までの6日間、朝8時30分より夕刻の6時まで627件の案件について「提案理由-討論-採択」が行われました。今回からは賛否が各自のKey Padを押す方法が採択され、瞬時にその集計が棒グラフになってスクリーン上に映し出されるので、議事の進行は大変スムーズに行われました。

英語、スペイン語、ポルトガル語、フランス語、ドイツ語、日本語等が飛び交う中で朝から夕刻まで討論に耳を傾け、賛否を決定するのは大変な頭脳労働でした。注目すべき議題を次に紹介致します。

議 題

- 職業分類の原則を保持し、クラブ会員の種類を正会員と名誉会員に簡素化する件……………採択 (430 : 76)
(定款変更は2/3の票を要す)
- ロータリークラブを創設するにあたり、新しいモデルに基づいた試験的プロジェクトの実施を考慮する件……………採択 (339 : 156)
- 会員が出席を免除される条件及び事態を、クラブ理事会が決定することを認める件……………採択 (316 : 160)
- 正会員が裁量の権限ある管理職の重要な位置にある事業主、共同経営者、法人役員または支配人である資格条件を
削除する件……………否決 (307 : 185)
(定款変更は2/3の票を要す)
- 「青少年奉仕」をロータリーの奉仕の第5「部門」に追加することを考慮するよう要請する件……………採択 (233 : 215)
- R I の会長及び会長エレクトに毎年感謝の意を明示する件(会長 : 100,000ドル、会長エレクト : 75,000ドル)……………採択 (250 : 240)
- インナー・ホイールをR I の公式プログラムとして採択することを考慮するよう要請する件……………否決 (226 : 230)
- 2005年ロータリーの百年祭までに「150万人のロータリアン」という会員目標を承認すること……………採択
- ロータリー創立100周年記念にあたる2005年までに、「1人当たり寄付として100ドル」を達成するよう全ロータリ
アンを奨励する件……………採択
- 人頭分担金を増額する件(95年以来同額)……………取り下げ
- 規定審議会の費用を賄うために「毎年度1人当たり米貨1ドル」を徴収する件(350万ドル必要とのこと)……………採択 (354 : 153)
- R I の一般剰余資金から超過分を使用することを許可する件(350万~400万ドルあるため)……………採択
- ヒンズー語をR I 承認言語として受容れる件……………採択 (300 : 207)
- 当地区守山RCよりの「ローターアクターの年齢制限を40歳までに引き上げること」を考慮するよう要請する件。
この件に関しては、「ローターアクターの年齢制限を35歳まで引き上げる」という案件が2日前に提案され、
討論の結果118 : 314で否決されておりましたので、私は登壇をしてその旨を発表し、提案を取り下げてきました。……取り下げ

会議は連日熱気をはらみ、世界186カ国にはこれほど熱心で情熱的なロータリアンが多いのかと驚いたしだいです。

朝・昼食はバイキング形式で、ホテル内で全員揃ってとるのですが、夜は各自自由でした。シカゴの夜を愉しもうと私は家内と2人でジョン・ハンコックセンターの95階にあるThe Signature Roomからの夜景を眺め、Ginos East Pizzeriaを訪ね世界で有名なシカゴのピザを味わい、Lawry's The Prime Rib では22年前に訪れたときまったく同じスタイルのシカゴのロースト・ビーフに空腹を癒し、Cape Cod Roomでは地元ミシガン湖でとれた新鮮な魚とチョウザメのキャビアに舌鼓を打ち、シカゴの味覚を愉しんできました。料金は50ドル平均でした。シカゴの繁華街 Michigan Ave.の

散歩は、まったく危険はなく、大勢の人々が夜風に吹かれて歩いていました。

シカゴ・ロータリークラブから一夜のご招待を受け、例会場を訪ね晩餐会にも出席させて頂き、Paul Harris の肖像画の前で記念撮影を行いました。地球上の各地から集まった人々が一堂に会し、一つの気持ちになって熱心に討論する実感を味わうことができました。R I がすべてのクラブに平等にChanceを与えている姿勢には頭が下がりました。

2760地区の皆様! R I に物申すときには、是非当2760地区の地区大会決議事項として案件を提出されるようお願いいたします。

RI2320(スウェーデン北部)地区への 派遣を終えて

RI2760 GSE委員会

委員長 石田 弘 幸



RI2320地区 地区大会会場

本年度RI2320地区とのGSE事業は上半期での受入れ、そして下半期は当地区よりの派遣である。昨年秋より準備を重ねてきた吾がGSEチーム一行(リーダー：須賀碩二(豊田西RC)、メンバー：渡辺博明(大同工大専任講師)、船津丸昌好(星城高校英語教師)、勝本由貴(中村科学工業(株)技術デザイナー)、加藤千夏(柏井保育園保育士))

5名がスウェーデンへの1ヶ月の研修に旅立ったのが4月20日であった。

そのGSEへの励ましと、更なる国際交流としてRI2320地区大会へ出席を目指して有志による親善旅行も行なった。福田ガバナーと、村野財団副委員長、GSE石田委員長、GSE鈴木副委員長の3夫婦の7名のメンバーで5月4日に出発。後日ストックホルムで石田GSE委員夫妻及び須賀リーダーファミリー8名が合流し、スウェーデン北部の中心地ウーメオへ総勢16名で到着したのが5月10日。派遣チーム一行は既に入国後3週間、各地でホームステイと研修とミーティングを続けて居り、すっかりスウェーデンに溶け込み大張切



遅くなって元気に帰国 (5/20名古屋空港)

GSE派遣チームのプレゼンテーション

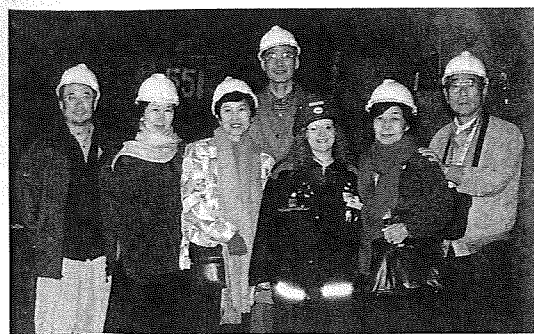


思えた。地区大会第2日・5月11日(土)のゴールデンタイムに行われたGSE事業の紹介行事では、先ず日本側を代表しての福田ガバナーの格調高い英語でのメッセージが絶

大の拍手を浴びた。そして吾がGSEチームのプレゼンテーションは、日本・中部・愛知の歴史と沿革、そして地域の産業・経済の話を、スライドを流し乍ら、リーダーと4人のメンバーが連携して熱心な説明を行い、参加者を納得させた。特に後段での「現在の日本の食文化」の紹介は我々応援団も巻き込み乍ら、須賀リーダーの軽妙なアド

リブを交えての英語で会場内を笑いの渦にまいての大反響であった。そして結びは、メンバー船津丸君の年期の入った「空手」で、その気迫の技は万雷の拍手につつまれた。GSEの地道な研修活動と共に伝統・文化の国際交流の意義をしみじみ実感できた。

大好評を得たGSE派遣チームが元気に帰国したのは5月20日の朝であった。



世界的規模のLK鉄鉱山の地下550mの坑道で

りの状況であった。

さて、RI2320の地区大会は47RCで約150名参加。意外と質素でこじんまりとしていたが、中味はかなり濃密と



RI2320地区大会へ訪問のガバナー一行

春日丘高等学校

インターアクトクラブ認証状伝達式

春日井RC会長 貴田 永 克

設立実行委員長 伊 藤 正 之



貴田会長



伊藤実行委員長

春日井
ロータリ
ークラブ
が数年来
暖めてき
た構想が
現実のも
のとなっ

た日、即ち2000年12月20日、我がクラブ指導のもと、三浦学園春日丘高等学校インターアクト・クラブ創立に漕ぎ着けました。

またこの度は、2760地区16番目、久方ぶりのインターアクト・クラブとして、福田清成ガバナーが2001年2月15日付で署名されました結成認証状を手にする事が出来たことは、感慨無量であります。

前々会長の加藤茂君より直前会長の伊藤正之へ、そして会長へと引き継がれ、当初費用とお荷物を背負込む等賛否両論の中で、高校への説明や説得が粘り強く続けられ、今日に至ったわけであります。

地域社会への奉仕と国際理解を新世代に引き継ぐのを第一

目的としたインターアクト・クラブ設立は、ロータリー精



神に最も適った活動の重要な一つと考えられまして、インターアクト設立実行委員会を組織し、4月28日認証状伝

達式めがけ、準備した甲斐あって、滞り無く認証状伝達式を終え、ほっとした所であります。

当日は、春日井RCが春日丘高校インターアクト・クラブ結成を目指し一頁を飾った新聞を前に、春日井



春日丘高インターアクトクラブメンバー

市市長 鶴飼一郎様、2760地区ガバナー 福田清成様を始め多数の来賓を含め170名もの参加を得、春日丘高校のブラスバンド演奏、我が会員乃一良吉君夫妻の手品も加え、実に盛大に行われまして、感激的なひと時でありました。

尚、名古屋空港ロータリーと豊山城北ロータリーが共同で、生れたばかりの春日丘高等学校インターアクト・クラブを支えていただける申出を受けておりまして、大層心強く思っております。

ウイサーブ、アイサーブの一端を実現でき、会長、実行委員長として会員および幾多の関係者に感謝しつつ、また嬉しく思っておる次第であります。



地区委員長会議報告

第2回 地区国際委員長会議

地区国際奉仕委員長 中野博三

2000～2001年度の第2回地区国際委員長会議は、4月25日午後2時からホテルキャッスルプラザで開催されました。

会議には福田清成ガバナーはじめ地区委員ならびに関係委員、それに地区内の66クラブから国際奉仕委員長が出席して、青少年交換・世界社会奉仕両委員会の活動報告と質疑を行い、本年度の活動を総括しました。初めての試みとして、会議の後半を講演に充て“異文化交流”に関する示唆に富んだ話を聞くことができたのも収穫でした。

開会に当たって中野博三・地区国際奉仕委員長は、この会議の趣旨を説明するとともに、「この1年間、友情とご協力をいただいたことを厚く感謝します」と挨拶。福田ガバナーは、今年の活動をふり返って「WCSに同額補助金制度の活用を呼びかけいくつかのクラブで実行されるようになった。引き継ぎをよろしく。青少年交換についても3年委員会のような考え方で継続していきたい」など具体的な提言を行いました。

議事に入り、服部和史・地区青少年交換副委員長から〈青少年交換委員会の活動報告〉、大平賢一・地区世界社会奉仕委員長から〈世界社会奉仕委員会の活動報告〉が行われ

ました。青少年交換では「派遣学生の応募者が少ないため優秀な学生を選抜するのが難しい」といった悩みが述べられました。WCS関係では、「WCSにクラブ独自で取り組むケースが増えている。この方向は今後も進めていただきたい」と要望が出ていました。

休憩を挟んで後半の部では、愛知大学の常石希望教授が〈韓国という異文化を解くカギ〉と題して講演。この中で常石教授は、韓国文化の基層にある“人間関係性”を手がかりに文化的特徴を解明しました。そして異文化交流を進める上で求められるのは「文化的帝国主義を排して文化的相対主義の立場に立つこと」と締めくくりました。

会議は最後に坂田隆・地区ガバナー補佐が謝辞と講評を述べ、午後4時過ぎ閉会しました。



クラブ行事報告

フィリピンの苦学生への奨学金

小牧ロータリークラブ

小牧RC国際奉仕委員会（田中清隆委員長）は4月20日、RI 3810地区タガイタイRCへ親善訪問団（船橋成行PP以下総勢7名）を派遣した。

「足跡の見えるWCSを」との方針のもと、1999年5月両クラブが姉妹提携し単独WCSとして奨学基金制度を設立した。

小牧RCが毎年2,000米ドルずつ拠出し、現地RCが学生選考・指導・奨学金管理を受けつつもので、毎年

2名宛（4年目以降は常時8名）の学資相当分を無償給付するもので今回は第3年目（基金累計6,000米ドル）



である。

貧しいが優秀で明確な将来志向のもと、懸命に学ぶ学生たちとの出会いは私たちに「ひたむきに生きる」感動といくつかの大きな手でたえを与

てくれる場であった。

ローターアクト年次大会報告

RI2760地区 ローターアクト地区代表 佐々木 義 宣

去る、5月12日・13日、豊橋グランドホテル（前夜祭）、豊橋創造大学大講義室（本大会）にて、第11回ローターアクト地区年次大会が開催されました。2日間にわたり『YOU'VE GOT MESSAGES』と題し、親睦交流会（前夜祭）と2760地区ローターアクトの一年間の活動を皆さんに報告する締めくくりの大会を行いました。



ホストクラブは私の所属する豊橋ローターアクトクラブです。当クラブは、一年間この大会の為に、年次大会

実行委員長神谷和孝君の下がんばってきました。最後まで、力を振り絞ってくれた豊橋のみなさんには感謝しております。そして、本大会会場を無償で提供していただきました豊橋創造大学理事長伊藤昭彦様ありがとうございました。

さて、本大会はご多忙中の中御出席賜りましたご来賓、特別出席者の皆様、また、地区内外より多くのロータリアン、ローターアクターに御参加いただきたいへんありがとうございました。



それでは、当日の内容を簡単にご説明させていただきます。大会では、まず、地区テーマ『LET'S SEND YOUR MESSAGE!!』～伝えようアクトの心～のもと、活動をして参りました子供の虐待防止に関する活動報告を行いました。特に各クラブの活動については、大型のプロジェクターを使用し、子供の虐待防止に関する啓蒙活動など、ポイントをおさえ紹介いたしました。今年度は、内容の濃い活動が目立ち、ロータリークラブと共同で一つの例会を企画するクラブ、3つのクラブが協力し合い一般の方

にも開放した講演会を企画し広く子供の虐待防止についての啓蒙活動を行ったクラブ、献血活動時にこの問題についてのアンケート調査を行い一般の方の意識調査を行ったクラブなど、各クラブ様々な活動が報告されました。

午後の部では、子どもの虐待防止ネットワーク・愛知、常務理事の安藤明夫様の講演会を行い子供の虐待問題の現状について、みなで耳を傾けました。安藤様貴重な講演ありがとうございました。



最後に表彰式・卒業式です。今年度最優秀クラブ賞は、名古屋名城ローターアクトクラブです。名古屋名城ローターアクトクラブは、この会員減少に悩める中40名の会員数を維持し、会員一丸となって、地区内外の行事に積極的に参加した功績にたいして表彰させていただきました。今後のさらなる活動を期待しております。また、卒業生の皆様のご活躍を、心からねがっております。お疲れ様でした。

私は、この年次大会を通して、ローターアクトの日々の活動や子供の虐待問題について多くの方に伝えられた事をうれしく思います。また、このMESSAGEを皆様がさらに多くの方に伝えて頂ける事を心から願っております。



安藤明夫氏 講演

2000 - 2001年度 ガバナー補佐活動報告



南尾張分区 ガバナー補佐
石川 治 郎
(半田南RC)

1年を振り返ってみますと、いろいろなことがありました。南尾張分区内6クラブの会長、幹事さんをはじめとして、全会員の皆様の温かいご協力を得て、職務を遂行することが出来ました。心よりお礼申し上げます。

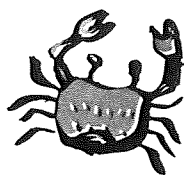
又、福田ガバナーには大変お世話になりました。ガバナー補佐とはいえ、何らお役に立てなかったことと存じます。

ガバナー補佐として特に印象の深かった点は、次の3点であります。

1. 2000～2001年度地区協議会のホストを東知多ロータリークラブが受けて下さったこと。
2. 2002～2003年度地区大会を半田南ロータリークラブがホストとしてやって下さることになったこと。
3. 2000～2001年度のI.M.が無事終了することが出来たこと。

最後に、ガバナー事務所の和田さんにも大変お世話になりましたし、ご苦勞様でしたと申し上げます。

1年間ありがとうございました。



西尾張分区 ガバナー補佐
藤 井 忠
(西春日井RC)

光陰矢の如しの諺どおりの、この18ヶ月余りでありました。石川研修リーダーの指導、福田ガバナーのR I 地区方針等のご指導を受け、身の引き締まる思いであった。ニューリーダーシッププランでのガバナー補佐の役目を理解しないうちに、次期会長、幹事会を開催し、一抹の不安もありました。しかし、福田ガバナーを始め、関係各位の暖かい思いやりで、無事終ることが出来ましたことを心よりお礼申し上げます。

昨年の8月2日の尾張中央クラブを皮切りに7クラブ訪問を終えた時点で、9月11日に襲った東海地方の豪雨で、ガバナー公式訪問日程を変更せざるを得なかったアクシデントに見舞われ、分区内の会員の被害状況、地域住民に対する奉仕をどうすべきか等々の諸問題を抱える中、会員の皆様方の力強い支援をいただき、ロータリーの存在意義を深く感じました。その節は有難うございました。

クラブ訪問の際、福田ガバナーの地区方針の一つである経常的経費の抑制の項目は、ロータリーのみならず、日常社会においても、活用しなくてはならないことを痛感いたしました。

3月3日のIMは、ボランティア活動家による「超私の奉仕」の講演、「奉仕の実践」のシンポジウムを通じて、ロータリーはどうあるべきか、何をすべきかを得た。奉仕とは、心を広げ、相手の心に飛びこんで、相手に感動を与え、心を癒すことである。又、日本の伝統文化の知恵を若い人達に伝え、常識ある社会人に育てることが大切であることを再認識いたしました。

最後に、皆様方のご友情と、お手伝いいただきました水谷昂示ガバナー補佐幹事に感謝申し上げ、お礼のご報告させていただきます。



2000 - 2001年度 ガバナー補佐活動報告



東尾張分区 ガバナー補佐
坂田 隆
(瀬戸北RC)

昨年ガバナー補佐の委嘱をいただいて、どうやら無事にその任期を終える今日、この一年を振り返って、その月日の速かったこと、又こんなに思い出の多い一年は自分の人生のうちでもそんなになかった事です。

忙しかった一年は自分の職業の方も意外と充実した年でした。昨年度のPETSから始まり、地区協議会へと進むうちに伝統ある2760地区、又東尾張分区のすばらしい先輩の皆さんの業績を知るにつれて、自分の責務の重大さに自分の浅学非才を痛感しました。クラブ公式訪問させていただいた東尾張10クラブどのクラブも、会長、幹事さんを初め全てのメンバーより心温まる歓迎をいただいたことは私、並びに全力を上げて私をサポートしてくれた補佐幹事加藤昭博君、副幹事小沢修君共々一生忘れることの出来ないすばらしい思い出になりました。又私には大変運の良いことにクラブ会長同期で最も敬愛する福田ガバナーに助けられ、江南RCの優秀なスタッフにも大変お世話になったこと心よりお礼申し上げます。私は就任当初より前任の加藤俊夫ガバナー補佐よりの申し送り事項として愛知万博について開催地区のRCとしてどう取組んで行くべきかを具体的に皆んで考えて行動を開始しようをテーマに自分に問いただしてこの一年間頑張ってきた。幸いにも福田ガバナーもこれに力強く同意され、プエノスアイレスの世界大会もガバナーと同行し愛知万博のPR活動と一緒に参りました。

本年のIMも皆さんのご理解と協力により成功裡に終える事が出来ました。又私の担当する地区の委員会活動も国際奉仕委に於いては皆さんすばらしい努力で例年にも増して交換留学生等の奉仕活動も成果を上げられました。ロータリーの基本は奉仕する心と行動です。私もその中から多くの友人、知人を得て行く幸せ感を体験させていただきました。本年一年多くの方々にお世話になり心よりお礼申し上げます。特に何かにつけすばらしい指導力を発揮された福田ガバナー、伊藤地区幹事、そして私の所属する瀬戸北クラブのメンバーに心より感謝して、又東尾張分区のRCがますます奉仕の実践を積上げて行かれることを期待してこの拙文を終えます。



西名古屋分区 ガバナー補佐
小坂 忠勝
(名古屋栄RC)

新世紀にガバナー補佐を努めさせて頂き、福田ガバナー・各ガバナー補佐をはじめ伊藤地区幹事、地区副幹事、区内各クラブ会長、幹事、会員の皆様には大変お世話様になり深く心より感謝申し上げます。

昨年(2000年)7月31日名古屋中ロータリークラブで最初に、区内のクラブを訪問した際、各クラブの会長・幹事懇談会、クラブ例会で私なりに卓話をし「法隆寺の匠の技」と題してスピーチを致しました。

歴史、文化世界遺産として後世に伝えられるものは魂があり、命があり、そして次代に伝える理念が隠されているからこそ続くもので、又、その近代の技術・文化の基を築く事を話し、クラブアッセンブリーを含め3時間余りにわたりました。

RIFランク・J・デブリン会長のテーマ「意識を喚起し — 進んで行動を」の福田ガバナー方針、クラブの現状等熱心な協議の中から、それぞれクラブの特色ある運営、青少年の育成、老年化、少子化など有意義な奉仕活動等、多くの諸問題を勉強させて頂きました。

各クラブの活性化に十分貢献できたのか自問をなげていますが、1、2週間後のガバナーの公式訪問で、ガバナーはRI会長テーマと自分の方針を格調高く活力溢れ、意欲深くスピーチをされました。

2月26日のIM式典並びに講演にガバナーと6名のバスターガバナーの皆様にご参加頂き新世紀に向かって「ロータリアンの意識を喚起し — 進んで行動を」と志気を高め、ガバナー挨拶、その後ボランティア・ユニセフ大使アグネス・チャンに「みんな地球に生きる人」と云う講演をお願いし、アフリカやその他貧国の生活、そして先進国のあり方等地球に生きる人の苦しみを皆で努力して、平和な輝ける地球にすべく互いに努力と理解を深めてと内容のある講演でした。

IMが大変な感銘を受け無事終了致しました事にガバナー始め皆様に深く感謝致します。

また、本年度は周年の行事が多く、

名古屋北クラブ20周年

名古屋駅クラブ10周年

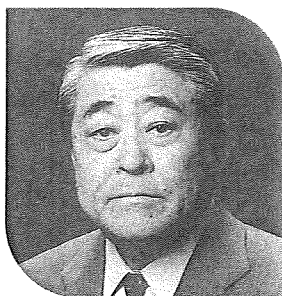
名古屋南クラブ10周年

名古屋錦クラブ5周年と続き、

それぞれのクラブで特色する記念例会を心よりお祝いさせて頂く機会を得ました事は大変良き思い出となりました。

新世紀の初めにこのような体験を通じて素晴らしいロータリアンの友情と輪、奉仕の精神を広め互いに交流を深め、ロータリアンの皆様のご支援を深く感謝申し上げ、御礼の報告と致します。

2000 - 2001年度 ガバナー補佐活動報告



東名古屋分区 ガバナー補佐
星 川 直 志
(名古屋名北RC)



東三河分区 ガバナー補佐
林 成 樹
(田原RC)

長かった一年も終わりに近づいてきました。巨大な組織のほんの一部の役割を果たすことの大変さを味わった一年でした。ロータリーのいろいろな決めごとの多さと組織の肥大化には考えさせられました。委員会の数の多さもしかり人数の少ないクラブはどうしているのかな等々。

私の担当した東名古屋分区は名古屋市を二分した都市型の非常に洗練された立派なクラブばかりで私自身ロータリー歴は長いのですが不勉強故に大変学ぶことが多く有意義な一年を過ごさせていただいたと感謝をしています。

任期中訪問したどのクラブも皆様には心暖かくお迎えをいただき緊張も一時でつい余分なことまで喋ってしまったりして失礼したことも再三でした。クラブアッセンブリーも終始なごやか、かつ真面目に対応をしていただき私の困るような質問もただの一つも無く胸をなで下ろしました。特に印象深いのは地区大会スポンサークラブの思い出です。企画から始め総てを会員のみならずご家族を含め大成功に納められたことは感動の一言でした。もう一つはIMです。650名お集まりいただき「21世紀・日本のエネルギー」のテーマで中部電力の太田社長の原子力を含めた環境との取組を淡々とかつ大胆にお話をされお集まりの皆様強いインパクトを与えたことと思っています。これもスポンサークラブあってこそと思い感謝の念で一杯です。また心残りも多々あり福田ガバナーの意に添えなかった数々のこと、特に胎動はすれども生れなかった新クラブ、会員増強、女性会員、幻にせず次年度水野ガバナー補佐にバトンタッチをいたします。

終りに第2760地区福田ガバナーを始め東名古屋分区の総てのロータリアンそして私を影で支えてくれた2名のガバナー補佐幹事に心からお礼申し上げます。有難うございました。



短く又長いこの1年半一地区及び分区の各種の会、委員会、諸行事への出席、私は総計81回を数えました。(会員の死亡葬式参列10を含む)

地区として補佐制度が確立されて2年め、図らずも補佐の委嘱を受け、手続要覧等により準備を進めその任に備えましたが、実際には本当に気をつかう、大へんな職務でありました。果たしてその責を果たしたであろうかと懸念されます。

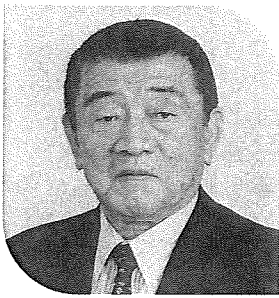
色々と考えさせられ、問題となった事項を紙面の都合により若干記させていただきます。

・サインによる欠席のメイクアップ(クラブ定款第7条第1節Ⅳ)・クラブ会長の任務-19項目(手続要覧P3)
・理事会の決定-最終的である(クラブ定款第8条)・会員の身分資格条件(RI定款第5条クラブ定款第5条)
・会員の身分の終結(クラブ定款第10条)・ロータリアンの5つの義務(RIロータリアン必携)・ロータリーの綱領(手続要覧P53)四つのテスト(同P76英文同P72)ロータリーの定義(同P53)のそれぞれのクラブ計画書への正確な記載・ロータリーの最初の定款(1906年シカゴRC)等々

この一年有余に亘り、諸先輩をはじめ各クラブの会長幹事の方々並びに会員皆様より暖かいご指導ご支援をたまわり、就中3月11日のIM、5月15日の伊良湖親睦ゴルフ大会には絶大なるご協力をいただき、誠に有難く心より御礼申しあげ、各クラブのいよいよの発展充実に衷心より祈念いたします。



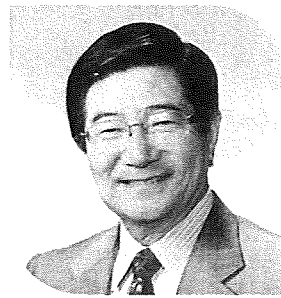
2000 - 2001年度 ガバナー補佐活動報告



西三河中分区 ガバナー補佐
花 沢 勇
(豊田三好RC)

本年度アシスタントガバナーに任命され、早やこの大役も終わろうとしております。この間本当に福田ガバナーのアシスタントが出来たのかどうかと思いますと肯定出来ず、否定的な面が多く、足を引張ったのではなかろうかと思えます。又自分のテリトリーの皆様に対してどれ程貢献したかと自問自答致しましても又しかりで悲観的な答えしか返らず、各ロータリアンの足を引っ張り足手まといではなかったのではなかろうかと思えます。私自身この一年間はロータリーに加え、愛知県産婦人科医会の副会長と校医と三好町行政の各分野の理事役員を兼務。その上プライベートではありますが病院の新築移転等が重なりましたが、体と時間の許す限り頑張っていました。

私は各クラブを訪問させて頂いた時に職業あってこそ、ロータリーが務まりますので職業優先を重んじて下さいと申し上げて参りました。又私の考えが間違っているかも知れませんがライオンズの方が堅さや理屈っぽさがなくロータリーに比べて柔さがある様思われ世間一般の方はライオンズは御存知ですがロータリーを知らない方が多い様に思われます。ロータリーもっとユーモアやウィットに富んだ方が重要かと思えます。私自身ロータリー歴三十有余年になりますが、ロータリーの勉強は殆んどして居りません。ロータリアンの中には要綱を持ち出して色々箱の隅をつつく様なことを云う方もお見えになりますがロータリーの基本は必要ですがアドリブがあって良いのではないかと思います。二月のIMの時福田ガバナーと伊藤地区幹事をデコボココンビと失礼な表現致しましたことこの場をおかりして深謝致します。今後ガバナー、アシスタントガバナーになられます偉いロータリアンの方々にせんえつで御座いますが会長・幹事会、クラブアッセンブリの時など地域の特性がありますので余り堅いことを云わず楽しくやる様つとめて下さい。最後に福田ガバナーには期待にそうことが出来ず心苦しく思っています。又伊藤地区幹事には口の悪いことばかり申しまして失礼致しました。最後の最後になりますが、お互いに役職を離れても今後共又他のアシスタントガバナーの方々も、末永く御交誼の程お願い致します。



西三河分区 ガバナー補佐
加 納 隆
(西尾KIRARARC)

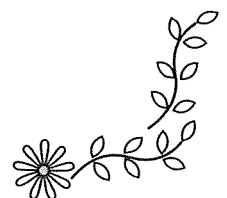
今年度、我々西尾KIRAIRロータリークラブでは、創立以来初めてのガバナー補佐の大役が当番と云う事で回って来ました。私自身、この様な大役が本当に務まるのかとの思いでスタート致しましたが、福田ガバナーのご指導の基、何とか今日を迎えることが出来感謝の気持ちで一杯です。

一年を振り返る時、分区内9クラブの補佐訪問で、各クラブの先輩ロータリアンの前で行う30分の卓話は本当に緊張の連続でした。しかし、例会前の会長幹事会、例会、そして例会後のクラブ協議会では、それぞれ特色あるクラブの歴史と、活動内容が肌で感じられ大変よい勉強をさせて頂きました。

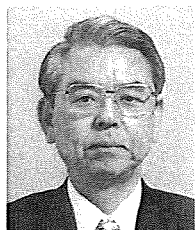
分区内の行事とし致しまして、3回に渉る会長・幹事会、恒例になっていますガバナー補佐杯の親睦ゴルフコンペ、そして一番大きな行事となりましたインターシティミーティングは、2月17日(土)衣浦グランドホテルにおいて、テーマ「21世紀“取りもどそう”国の宝」と題して福田ガバナー始め、地区役員、そして分区内から430名という大勢のロータリアンのご出席を頂き、健全な青少年育成の問題について、第一部基調講演、第二部では、各クラブから5名のロータリアンメンバーの参加による全体ディスカッションを行い、非常に熱のこもった議論が展開され大盛況のうちに終えることが出来ましたことをご報告させて頂きます。

さらに、知立ロータリークラブ、西尾KIRARAロータリークラブでは、それぞれ、創立10周年の記念式典が華やかに執り行われました。

最後に、未熟な今年度のガバナー補佐を支えて下さいました、分区内の会長、幹事の皆様、ガバナー始め地区役員の皆様、補佐幹事の新見幸市君、そして全てのロータリアンの皆様に心から感謝申し上げ報告と致します。



地区委員会活動報告



地区資金委員会

委員長 片山 主水

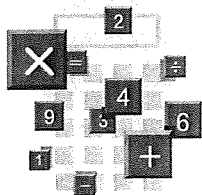
地区資金委員会は、長年慣行として、地区幹事経験者が先任順に委員となり、収支全般にわたる予算および決算について審議してきている。

地区 6000 余人の会員が拠出する資金の有効な使用方法を検討し検証するのがこの委員会の第一の任務です。

しかし有効と言っても、ロータリーの目的自体にも軽重あり、事業・行事の必要性にも高低がある。使用の仕方にも適不適、不当があつて、その測定は非常に難しい。

毎年々々ガバナーが叫ばれながら実現ができなかったところ、本年はガバナー主導によりロータリーの基本理念に照らして厳しく評定され、最少費用の最良効果が一步でも実現されたかを感じている。

この方向性は次年度に
申し送りしたいと考えている。



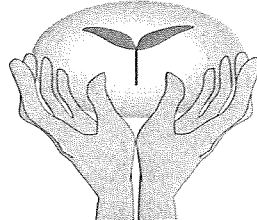
拡大委員会

委員長 加藤 正男

「意識を喚起しー進んで行動を」の R I テーマに基づく福田清成ガバナーの具体的な目標の 1 つである「拡大」に対し、「新クラブ誕生」という明確な成果が実らず誠に申し訳なく思っております。

然し福田ガバナーの熱心なご指導のもと、年度を通じて十数回の委員会を開催。カウンセラーをご担当下さいましたパストガバナー、各分区ガバナー補佐、当委員会メンバーズ、それに多くのクラブの役員の皆様と力を合わせて、沢山の「拡大の芽」を見つけ今後における大いなる可能性と共に年度を終わることを嬉しく存じます。

本年度における関係各位のお力添えを深く感謝致しますと共に、引き続き「拡大」に対するご支援を伏してお願い申し上げます。



クラブ奉仕委員会

委員長 榎原 義嗣

昨年 1 月に福田ガバナーよりクラブ奉仕委員長の委嘱をうけ地区の活動の一助となるよう務めて来ました。その間多くの会員のご援助で職務を遂行出来ました。「会員増強・退会防止」はデブリン R I 会長の強調事項であり、クラブ奉仕委員会の役目は大切です。地区の委員会の職務として本年度は例年にならって、

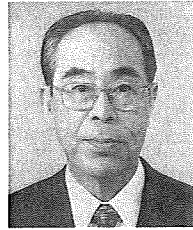
1) 地区協議会 (2000.4.15)

2) クラブ奉仕委員長会議 (2000.9.9) があり、

その準備の為の委員会 (7.8) (9.9) を開催しました。

1) については「会員増強」に話題が集中しました。

2) については第一部として名古屋中 RC のご協力により「ISO14001」認証の取得について徳田・河尻両講師によって地球環境の悪化を防止する行動こそロータリーの奉仕の精神であるとの内容でした。第二部として各パネラーの発表と共にグループディスカッションを行い、「クラブ奉仕」「会員増強・退会防止」について意見交換により、135 名の出席者全員が発言で有意義な成果がありました。最後になりますが、福田ガバナー、星川ガバナー補佐、小川増強委員長他皆様のご指導ご協力に心から御礼を申し上げ報告と致します。



会員増強委員会

委員長 小川 辰男

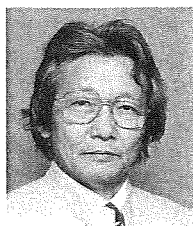
8月3日、地区会員増強委員長会議を開催、前々年度152名減・前年度8名微増の状況に対処する増強活動を協議しました。各クラブ提出の計画では、地区計429名(7%・クラブ平均5.5名)の増強案でしたが、絵に描いたモチに終わらぬようどんな方策で目標達成をはかるかのアイデアを、出席者全員に語って頂き討議しました。

そして、全会員参加による増強活動を強く推進することを決議し、各ガバナー補佐・各クラブ会長に報告して、地区を挙げた増強活動展開を要請いたしました。

9月9日の地区クラブ奉仕委員長会議でも、「会員増強はロータリアン個々の心に燃え続ける永遠の課題である」という認識が広がるクラブづくりをお願いしました。

年度期首に対し9月末 96名、11月末 112名と純増しましたが、恒例の12月末大量退会者により4月末現在で期首比僅か22名の増に止まる水準まで落ち込みました。全クラブの奮起と懸命なご尽力を切望する現状です。

地区委員会活動報告



広報委員会

委員長 種村 桂介

2000～'01年度R1会長フランク・J・デブリンは、5つの強調事項で、(2)『会員増強および退会防止にひきつづき積極的に取りくむこと』の次に (3)『広報活動と報道機関向けキャンペーンを引きつづき積極的に展開すること』をあげています。

◎福田清成ガバナーの指導のもと2000年11月2日(木)に『クラブ広報委員会・雑誌委員長会議』を開催しました。

78RC中、欠席は4RC、出席は113名。(東京より「ロータリーの友」浅見勇編集長も出席、講演『編集こぼれ話』)

◎この会議では『1999～'01年度地区R1広報賞を受賞して』と題した名古屋北RC石黒大山広報委員長の報告が感銘を与えました。クラブの奉仕活動は、テレビ・新聞報道されることによって、いっそう広く市民に認識されることをあらためて知ることができました。

◎今年度R1広報賞には8つのクラブから応募があり、活動の前進を裏づけました。どのクラブの広報も学ぶ点が多く、とくに豊橋RCの『創立50周年記念地域文化振興と環境問題への取組の広報活動』は、地元紙2紙への2面全面の広報など、感動的な行動活動です。

また名古屋南RCの『創立10周年記念事業・青少年健全育成』、名古屋北RCの『性感染症予防啓発事業』の広報は特筆すべきものです。

◎1997～'98犬飼ガバナー年度に始まり、この一年間も「中部経済新聞」紙の連日にわたる詳細なロータリー報道には心から感謝申し上げるものです。

◎インターネット・ホームページの開設は各RCの広報にとっていよいよ大切なものとなってきました。いっそうの前進が必要です。



職業奉仕委員会

委員長 田中 清隆

職業奉仕委員長会議は、'00年8月31日に開催され「四つのテスト」のレクチャー、各クラブ事業計画の発表とそれにたいする質疑応答が行なわれました。最後に内藤明人PGから経営に関するユーモアあふれる講演があり、和やかな雰囲気の中に会を終りました。

11月19日の地区大会でのロータリーミーティングは、福田ガバナーの「職業奉仕～職業は人の幸せのためにあるのか～」のテーマのもとに、四名のパネリストがそれぞれ示唆に富んだ発表をされました。フロアからも熱心な討議が相次いで、近來にない盛り上がりを見せたミーティングでした。

10月の職業奉仕月間には、ほとんどのクラブが関連例会をもたれました。その多くは、職場例会(見学、訪問60%)、従業員、公務員などの表彰(40%)でしたが、四つのテスト関連(卓話、フォーラム40%)が目立ったのが本年度の特徴のようでした。例会の継続事業が上位を占めるのは止むを得ないとしても、何か新しい企画を加えるのも必要とされます。

なお、「地区職業奉仕委員会記録'99～'01」を各クラブにお届けしましたので、今後の参考資料としてご活用ください。



社会奉仕委員会

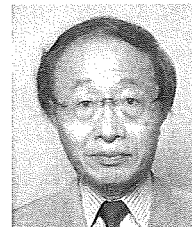
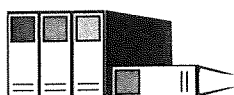
委員長 千田 毅

本年度の社会奉仕委員会はガバナー方針により社会奉仕、環境保全、RCCと一体となって活動する事になりました。

三委員会共互いに相関性もあり個々の活動を尊重しつつ、それぞれ事業を展開して参りました。

社会奉仕委員会の活動は以下の如くです。

1. 社会奉仕、環境保全、RCC合同委員長会議を開催。
社会奉仕委員会として年3回開催。
2. 識字問題に関してガバナーズレターに寄稿。
3. “書き損じハガキ回収”活動を通じてユネスコに貢献。
4. ノボンビルスクとの同額補助金実施に対する調査研究。
5. 第2760地区全クラブの社会奉仕委員会活動状況のアンケートによる調査報告。



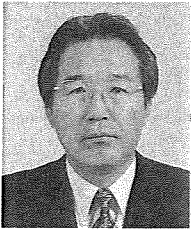
環境保全委員会

委員長 國分 孝雄

環境保全委員会では前年度より継続して「環境保全、もっと意識しよう! もっと行動しよう!」をモットーに、RIテーマ「意識を換気し一進んで行動を」、更に福田ガバナー方針の中で謳っている「自然循環による環境保全」を念頭に置いて、各クラブの環境保全活動の理念的方向を示すことと、各クラブの環境保全活動の内容を調査紹介し、相互の情報交換が可能なよう次の事業を行った。

- ① 第一回 地区環境保全委員長会議
(社会奉仕、RCC合同による)
日時 2000年 7月18日
テーマ 「ロータリーと環境保全活動」
第一部 講演会 講師 松浦誠四郎氏
第二部 各クラブ委員長によるグループディスカッション
第三部 情報交換懇親会
- ② 第二回 地区環境保全委員長会議
日時 2001年 4月11日
テーマ 愛知万博と環境保全
ー今、ロータリーは何をなすべきかー
第一部 シンポジウム
講師 本田幸雄氏 森徳夫氏 福田清成氏(ガバナー)
第二部 情報交換懇親会
- ③ 地区内各クラブ環境保全事業活動集の作成・配布

地区委員会活動報告

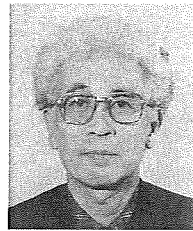
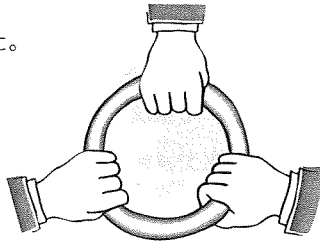


RCC委員会

委員長 前田 捷彦

今年度の地区RCC委員会の活動は次の通りです。

1. 地区協議会への参加(00.4.15)
委員長が第4分科会へアシスタントリーダーとして出席。
2. 次年度地区社会奉仕・環境保全・RCC合同委員会開催(00.5.1)
地区内各クラブのRCC委員長の参加をいただき、小グループによる討論を行いました。
3. 地区RCC交流会議開催(01.2.23)
福田GVはじめ地区関係役員、地区内各RCより代表ロータリアン79名、9RCCより代表25名、参加者合計120名にて開催しました。
4. 地区RCC委員会を
年間4回開催しました。



国際奉仕委員会

委員長 中野 博三

第1回地区委員長会議を事前にアンケートを行い、ある程度現状を把握したのち10月20日に。第2回を4月25日にホテルキャッスルプラザで開催しました。第1回は従来の形式を踏襲して、本年度の活動方針・各クラブからの提携の現況を主に。第2回は一部スタイルを変えて、愛知大学 常石希望教授を講師に迎え、「韓国という異文化を解くカギ」という話を伺いました。

次に、インド第3030地区から当地区との友情交換プログラムの提案がありました。実現を目指して努力しましたが、プログラムの理解・PR不足などの影響か、参加希望者が少なく実現までに至りませんでした。しかし、このプログラムや趣味職業別親睦活動プログラムは、今後、地区委員会としても研究・検討を重ね、各クラブやロータリアンが気軽に参加できる様に、積極的にPR・支援をしていく必要があると思います。

一年間、ご協力ありがとうございました。



青少年交換委員会

委員長 大谷 和雄

ほぼ例年同様の繰返しですが、8月第1土曜に留学生の選考を行います。合格した学生はオリエンテーションを重ね、すでに3月にブラジル、オーストラリア、台湾へ出発しました。夏派遣(カナダ、アメリカ、フランス、フィンランド)も8月に迫りました。同時期に前年に出発した派遣留学生が帰国しましたが、その成長ぶりは、目を見るばかりです。

また、受入留学生も同じ月に迎え入れておりますが、ホストクラブ、ホストファミリーの皆様の献身的なお世話により、すっかり日本びいきになっております。マンスリーレポートでは、漢字まじりの仮名文で、日本の素晴らしさ、ホストファミリーへの感謝が述べられています。

今年の特筆すべきことは、派遣7か国、受入れ11か国になったことです。青少年交換委員が、世界大会直前の「青少年交換会議」に毎年出席し、旧交を暖め、知己を求め、派遣国の拡大を図ってきたことによるものです。3か国から始まった当地区の青少年交換プログラムも軌道に乗ってきています。



世界社会奉仕委員会

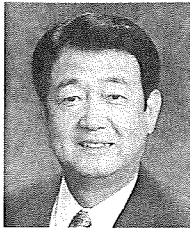
委員長 大平 賢一

世界社会奉仕(WCS)の活動目的は国際理解と国際親善を推進し、人道的立場から生活困窮者および災害被害者に援助する事により、国際平和を実現する時にあります。

今年度地区WCS委員会は、福田ガバナー並びに地区国際奉仕委員長、地区内各RC国際奉仕委員長のご理解、ご協力によりまして、以下の活動を行いました。

1. 愛知奨学基金への寄付(地区WCS事業資金)
 - 1) タイ第3360地区 (200万円)
 - 2) フィリピン第3800地区 (200万円)
 - 3) フィリピン第3810地区 (200万円)
2. 各クラブ独自の活動情况
地区内28RC 総額6,681,000円
3. 地区委員会一任→タイ第3360地区内各クラブへ
地区内42RC 総額4,446,000円
4. タイ第3360地区愛知奨学基金活動及び各クラブへの基金及び活動視察旅行。
奨学生への奨学金授与式へ直接手渡し、及び5ヶ所の活動視察。守野国際奉仕副委員長他5名参加。
地区内各RC会長幹事及び国際奉仕委員長のご理解ご協力に心より感謝致します。

地区委員会活動報告



新世代委員会

委員長 鶴田 欣也

1. 新世代活動参考資料の作成配布
新世代・IA・RA・RYLAの各委員長の方針と行事予定のほか新世代関係の手続き要覧(抜粋)を掲載した資料を作成配布。
2. 第1回地区新世代委員長会議(12年8月25日)
会議では各クラブの計画発表のほか、委員会別会議を開催。会議資料として「新世代委員長会議(各クラブ方針・計画)」を作成。
3. 第2回地区新世代委員長会議開催(13年3月17日)
会議では5RCに活動内容を発表いただくなど情報交換を行いました。会議資料として「新世代委員長会議(各クラブ方針・計画)」を作成。
4. 委員会開催
活動計画の検討や委員長会議の準備などのため委員会を3回開催しました。
最後になりましたが、関係の方々のご協力ありがとうございました。



インターアクト委員会

委員長 萩本 鐵夫

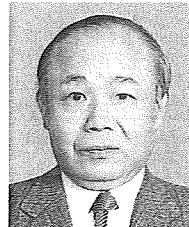
- 2000～2001年度インターアクト委員会活動は、提唱RCは勿論のこと地区内全RCのご指導、ご支援を受けまして400数十名の会員に深い感銘と第13回インターアクトクラブ海外研修に参加した38名の若い男女に生涯忘れることのない感動を与えました。
- 第11回インターアクトクラブ地区協は、阿久比高校IA C並びに東知多RCのホストにより、2000年7月20日に大府市勤労文化センターで開催いたしました。
- 参加したのは生徒450名とロータリアン300名の総員740名であります。今回は初めての試みとして、聴者の大澤豊監督とろう者の米内山明監督が世界で初めて共同演出の感動映画(アイラブユー)を参加者全員が涙して鑑賞しました。
- 第13回インターアクトクラブ海外研修は、オーストラリア：ブリスベンで実施。38名の高校生に生涯忘れ得ない感動を与えました。特に今回は、ホストファミリーのご理解とご協力を得まして、耳の不自由な生徒(阿久比高校の松澤友紀さん)が自ら積極的に参加致しました。また、福田ガバナーのご指導のもと現地9600地区のIA C会員と当地区会員が共同ボランティア活動をする話が纏まり、次年度に繋ぐことが出来ました。
- 委員会を代表して、関係皆様に心より感謝申し上げます。有り難うございました。



ローターアクト委員会

委員長 青木 公貞

1. ローターアクト(以下、RA)の活動は地区、ゾーン、各クラブとなりますが、本年度は活動のレベルアップとローコスト運営の実現に、地区代表・役員、各実行委員長、各クラブ会長・役員の熱意・工夫・努力で着実に前進しました。
2. 白馬での国内研修では自然環境、シドニーでの海外研修には事前にテーマに沿って学習をして臨み、全国研修ではRAや人生について多くの事を学んでくれました。
3. <こども虐待防止>という、大変難しく重要なテーマに、2年間、地区・全クラブで真正面から取組んで、多くの勉強をしてきたことは、特に高く評価出来ます。
3. 全クラブで取組んだローコスト運営の推進は、年次大会会場を、豊橋創造大学の好意で、無料借用させて頂いた事に象徴されます。大きな成果を挙げました。
5. 諸活動の企画・準備・運営の中で、協力し合い・助け合い・汗を流したことから生れる友情が、アクターに一生の財産を与えてくれたことでしょう。
6. 地区RA委員会も、たくさんの勉強と若さと喜びを貰いました。



ライラ委員会

委員長 加藤 鈴幸

1. 地区ライラ委員会開催の件
①委員会を年間5回開催した。②豊田西RCライラセミナー実行委員会メンバーと第9回ライラセミナーの開催に向けての合同会議を行なう。③ライラセミナー受講修了者友の会の設立。④ライラセミナー受講者の感想文の優秀作品の表彰。⑤今後のライラセミナーの運営の参考とするため78RCにライラセミナーに関するアンケート調査を実施(この結果は、第2回新世代委員長会議にて発表)。
2. 第9回ライラセミナーについて。
豊田西RCのホストにて藤岡町のトヨタ労連研修センター「つどいの丘」にて開催(2001年3月17日～18日の2日間)受講生152名。第2760地区福田ガバナーを始め30名の特別出席者の参加をえて行われた。メインテーマ「21世紀はあなたが主役」サブテーマ「みんなで考え行動を起こそう」と題してパネルディスカッション。受講生は10分科会に分かれ協議。地元の郷土芸能「棒の手」「陣中太鼓」の余興も行われた交流会。2日目は各分科会別討論発表会、藤井ガバナー補佐による講評、修了証書授与式、次回ホストクラブ永長尾張旭RC会長挨拶、鶴田新世代委員長の閉会の言葉等あり、受講生達がこのセミナーにてリーダーの資質を向上させ活躍されることを祈念致します。

地区委員会活動報告



ロータリー財団委員会

委員長 石川 敬

この一年福田ガバナーを初め先輩諸兄のご支援ご鞭撻に支えられ、財団使命の任務を遂行して参りましたが、未だ不完全かつ不十分の謗りは免れません。特に今年度は国際ロータリーとして、新世紀に相応しい各種の新プログラムが開発され、各地区内RCの対応にも緩々変化と活力へのインパクトがありました。

新世紀を迎えてロータリーに対する社会各階層からのニーズも大きく変化しようとしています。国際ロータリーはこれらのニーズに対し、各地区と各单位クラブを通じ、努めて応えようとしています。ロータリー活動の源は、各地区内RCに於ける活力あるプログラムの成果にあり、その成果は我々ロータリアンに依る寄付資源とリーダーシップの参加において有益に展開されています。

ロータリー財団は、毎年ゾーンセミナーを通じて各地区セミナーを開催し、その基本的方針をロータリアン各人に伝承しています。何卒ロータリアン各位におかれましては「ロータリー財団」に対し深いご理解とご鞭撻を賜りますよう心より祈念し、委員長として一年間のお礼のご挨拶とします。



財団奨学委員会

委員長 浅野 彰

ロータリー財団奨学委員会は、会員から財団に寄せられた基金の内より、D・D・Fにより教育的プログラムに配分をされた、国際親善奨学金の対象となる奨学生を広く募集し、地区内クラブに於いて受け付け、面接・審査された申請書の書類選考、本人面接により選抜し、RI財団本部へ推薦をいたします。

本年度の活動プログラム

'00.7.30 '01～'02年度奨学生のためのガイダンス
'01.2.10 地区ホームページにて'02～'03年度奨学生募集
'01.2.20 '02～'02年度奨学生募集ポスター発送
'01.2.25 '01～'02年度奨学生のためのオリエンテーション
'01.3.31 '02～'03年度奨学金申請書クラブ受け付け締め切り
'01.4.27 '02～'03年度奨学金申請書地区受け付け締め切り
'01.5.11 '02～'03年度奨学生書類選考
'01.5.13 '01～'02年度奨学生壮行会
'01.5.26 '02～'03年度奨学生面接試験

今回の'02～'03年度の奨学生選抜の結果

アカデミックイヤー 一年 9名
マルチイヤー 二年 5名
補欠 2名

本年度は、以上の方々をRI財団本部へ推薦いたしました。



財団学友会委員会

委員長 尾関 和成

財団学友会委員会は、財団奨学金委員会により選考された奨学生候補者に対して、ガイダンス・オリエンテーション・学友会総会および壮行会を開催し学友の協力を得て奨学生が無事に希望の留学ができるようにサポートしております。

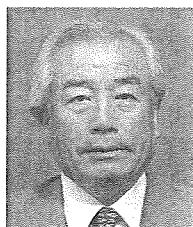
2000.7.30 ガイダンス

2001.2.25 オリエンテーション

2001.5.13 学友会総会ならびに壮行会

本年度も各事業において、財団学友に参加をしていただき、準備での助言、留学中の経験談などを聞かせていただきました。

顧問ロータリアンのみなさまには、今年度の各事業へのご協力に感謝するとともに、今後とも奨学生のサポートをお願い申し上げます。



研究グループ交換委員会

委員長 石田 弘幸

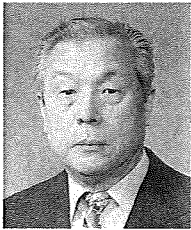
実業人の国際的な職業研修と親善の交流事業、GSEがブラジル・アメリカと続いて三度目のスウェーデン。前年度からいえば1年半掛りの活動がほぼ終わり、後は報告書まとめだけとなりました。

福田ガバナーの明快な指導、財団委員会の強力なバックアップ、全分区の大きなご協力、そして内部では鈴木副委員長の献身的な努力と全委員の積極的な働きと和が非常に気持のよい大きな成果を生むことが出来ました。

Mr. レナートをリーダーとする来日チームの明るく積極的な動き、そして須賀リーダー以下の派遣チームも負けず劣らず素晴らしい活動をして参りました。本人たちの研修・経験は当然乍ら、お互いに関わったロータリアンは勿論、多くの人々に関心と感動を与え得たことは、当地区がこのGSE事業を今後も永く続けることへのエネルギーになると信じる次第です。

一年間のご指導、ご鞭撻、ご協力を感謝いたします。

地区委員会活動報告



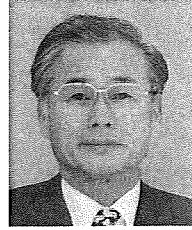
ポリオプラス委員会

委員長 榊原 克孝

ポリオ——この恐ろしい病気に敢然として立ち向かった世界のロータリアンたち。プログラムが発足した1985年当時のロータリアンは一人残らず多額の寄付金を拠出すると共に、以後も継続してこの活動が行なわれました。今日、当2760地区は会員一人当たり300円/年を各クラブより醸出して頂いております。ポリオ患者は1985年までは毎年125カ国で約35万人の身体障害者また死亡者を数えていましたが、1999年には30カ国で約7,000人の発症と報告されています。

特筆すべきは、2000年10月29日の「西太平洋地域ポリオ根絶京都会議」です。WHOはポリオが日本を含むアジア太平洋の37カ国・地域から根絶されたと発表しました。WHOが区分している世界6地域の中で根絶に至ったのは、南北アメリカに次いで2番目です。

さて、着実に減少しているポリオですが、最も困難な問題はこれからです。残存する地域の子供達に近付くことが戦闘や地理的な問題で阻まれています。世界がポリオから解放されたと証明される日が来るまでポリオ撲滅が依然として国際ロータリーの第一の目標であります。



米山奨学委員会

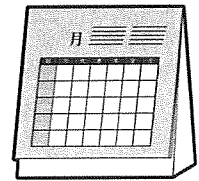
委員長 藤本 博之

この2760地区では、'00～'01年度、52名の奨学生の世話をさせて頂きました。

振り返ってみますと、「5月・新奨学生のオリエンテーション」「7月・学友会総会」「9月・クラブ米山奨学委員長会合」「11月・地区大会」「12月・01年度選考会」「2月・期間終了者の歓送会、指導教官感謝の会」と主たる行事だけでもこれだけあり、思ったより忙しい1年でした。

然しながら、本当に奨学生の世話をしたのは、世話クラブとカウンセラーの方だと思います。私ども地区委員は、そのお手伝いをさせていただいたに過ぎません。

この紙面を借りて、厚く御礼申し上げます。誠に有難うございました。



米山学友委員会

委員長 小野 文憲

4年目の米山奨学生学友会(愛知)は、クネヒト・ベトロ会長、役員諸氏の指導力で年4回の役員会ほか、自主積極的な活動、運営がなされ、我々米山学友委員会も全面的に支援してまいりました。

1年を通して次の活動を致しました。

'00. 7月 米山奨学生学友会愛知 第4回総会

9月 クラブ米山奨学委員長・カウンセラー会議(2名の学友によるスピーチ)

10月 企業見学会 於キリンビール名古屋工場

12月 米山奨学生・学友合同忘年会 118名参加

'01. 6月 徳川美術館で日本文化鑑賞(学術研修会)

又、8月には中国上海に、我々の手で米山学友会を設立しようと、加納泉(財)R米山記念奨学会理事、藤本博之米山奨学委員長と私の3名が、劉正学友会幹事長の案内で交渉に行き参りました。少しづつ前進致しております。

奨学期間が終ると米山奨学会の事など忘れてしまい、住所変更など連絡せず、世話クラブやカウンセラーとも音信不通になり、消息不明になっている元米山奨学生も多々います。終生にわたる永続的交流をお願い申し上げます。



ロータリーの友地区委員

委員 岩井 良明

4月の雑誌月間には、地区内のいくつかのクラブを訪問させていただきました。私の拙い話をご静聴いただき大変感謝しております。ありがとうございました。全国最年少の地区委員として、決して満足のいく仕事はできませんでしたが、この一年間、ロータリークラブに入会させていただいて初めて一生懸命に「友」を読ませていただきました。また、編集する側の立場から「友」誌を見る事が出来たことは大変勉強になりました。ロータリーの友を購読することは、ロータリアンの義務であるとされているにもかかわらず、今だ「友」は読まれざるベストセラーと言われ続けています。皆様が少しでも多く「友」を読まれ、投稿していただくことが、活性化に直結します。身近なところの記事が多ければ、興味をひくのが自然の理でもあります。是非、「友」は他人が作る雑誌ではなく、自分たちが作るものだと思認識していただきたい。皆様にとって「友」がより身近な雑誌になるよう、これからもロータリアンとして、微力ながら努力してまいります。ありがとうございました。

一年間お世話になりました・・・

スタッフコメント

地区会計長 沼田 準二

「終り良ければ全て良し」と云いますが、会員増強がままならないことによる資金の圧迫にも係らず、超健全予算の執行にご協力頂き心より感謝いたします。良い意味での緊張感を持ち「明るく、楽しく、品位良く」そして簡素にして充実した1年でした。有り難うございました。

地区監事 安藤 正英

地区監事に指名を受けて、仕事柄困ったと思い、結局はスタッフの皆様に迷惑をかけることになるかと覚悟をしていましたがガバナーもそのことをよく承知されていて殆んど一年間、ただ委員会に出席だけをして、ガバナーの仕事を殆んどお手伝いできなかったことが申し訳なく思っております。碧南における地区大会の監査報告をしっかりとさせていただき監事の役を終えることとなります。皆様方に感謝申し上げます。

地区スタッフ 真野 則光

21世紀開幕の時、福田清成ガバナーのスタッフに加えていただき光栄でした。与えられた任務は定款細則等の疑義解釈と相談でしたが、皆円満に解決しました。今年度成功は全会員のご協力によるものと感謝申し上げます。

地区副幹事 大平 正士

老輩に、大役が回ってまいり、不安一杯のスタートでしたが、諸兄の思いやりと、ご誘導のおかげで大過なくゴールに着地できそうです。ありがとう。

特にGSEは、石田委員長はじめ委員会全員の献身的な貢献で、研究グループ交換行事を立派に完了して頂き、感謝のほかありません。ありがとうございました。

地区副幹事 森 泰彦

東名古屋分区星川ガバナー補佐のお引き立てで多くの方々との出会いが出来、楽しい思い出が沢山できました。和合クラブさんの森会長、林幹事さん、安井実行委員長さん初め会員全員参加で見事な地区大会を演出され只々感激した事をこの場をお借りして御礼申し上げますと同時に多くの方々との出会いが出来ましたが、終生私の宝だと思っております。

又事務局は和田さんの大活躍のお蔭で何事もお任せでつつが無く過ぎ、只々感謝の気持ちで一杯でございます。

地区副幹事 石原 誠一郎

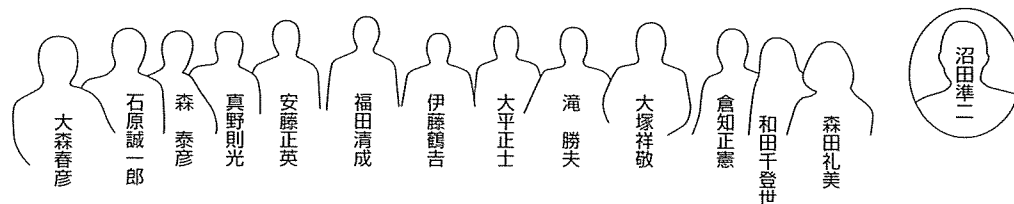
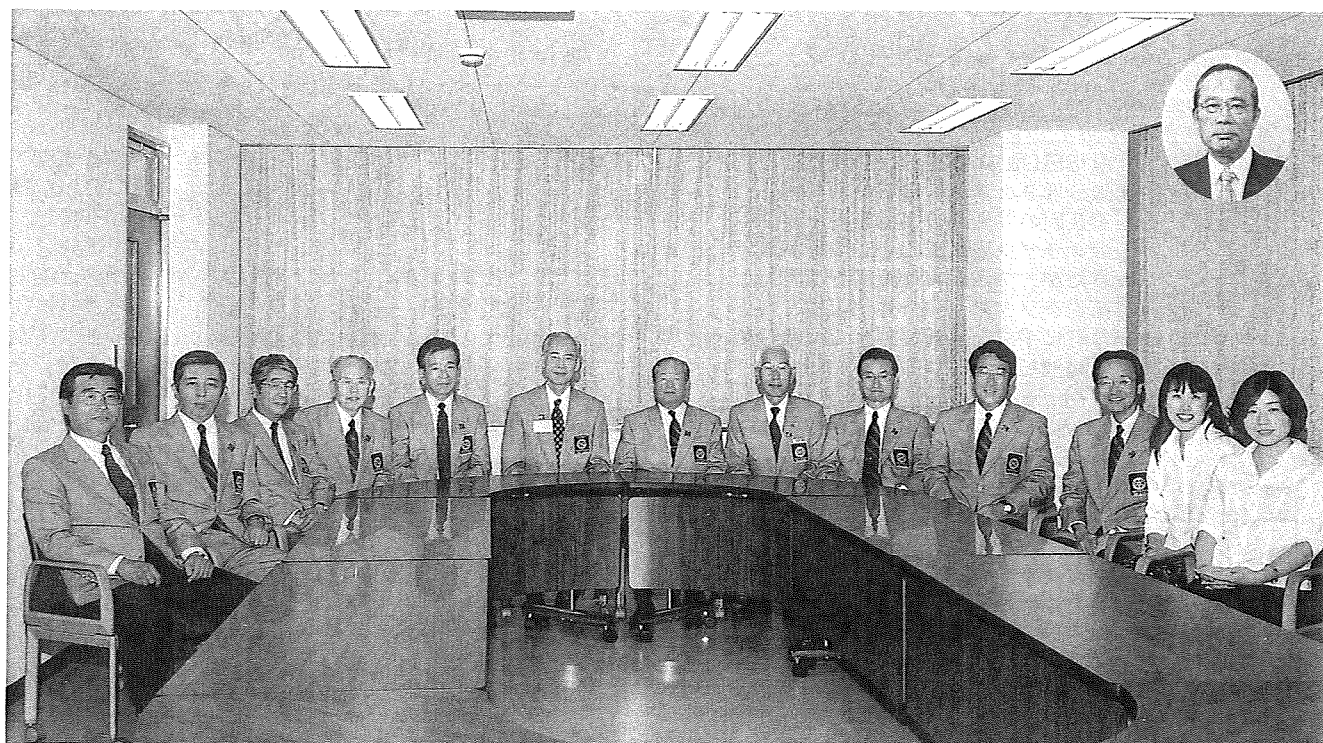
地区副幹事として一昨年の八月頃より地区大会の打合せ会議がスタートし、充分分らないまま和合クラブ様のリードで結果はスマートで立派な地区大会が開かれ、私としても本当に勉強になりました。また地区協議会も西春日井クラブ様のお陰で成功裡に完了し喜んでます。他に西三河分区担当で加納ガバナー補佐様には何も出来ず深く反省をする次第です。とにかく勉強の一年でした。

地区副幹事 大塚 祥敬

社会奉仕委員会を始めに6つの担当委員会を受け持ち林、坂田、花沢各ガバナー補佐さんに助けられて恙無く着地。特に思い出深いのは昨年9月11日、東海集中豪雨の夜、途中、車の立ち往生を横目にやっとの思いで花沢さんのみえる豊田三好RCを訪問できたことでした。

地区副幹事 大森 春彦

長くて短い一年でした。月信を担当する事になり、南尾張分区の石川ガバナー補佐、並びに担当の地区クラブ奉仕・会員増強・広報の各委員長さんのお手伝いも出来ず申し訳なく思っています。ロータリー哲学が解っていない私に「月信」を任してくれました福田ガバナー、そして2760地区の会員の皆様に感謝します。ひたすら「月信」の一年でした。



地区副幹事 倉知正憲

自分の人生の中でも二度とない貴重な経験をさせていただきましたことに心から感謝しております。地区大会での中坊公平さんの講演に、あれだけ広い会場が水を打ったように聴き入っていたのが、つい昨日のこのように懐かしく思い出されます。

地区副幹事 滝 勝夫

ガバナー補佐の皆様ご支援ありがとうございました。石川カウンセラーとR財団委員の皆様、加納カウンセラーと米山奨学会委員の皆様、IT研究会の有志の皆様、大変お世話になり感謝いたします。そして一人で頑張ってくれた森田さん、あなたのおかげで地区事務所も無事運営できました。皆様本当にありがとうございました。

地区事務所 事務局員 森田礼美

新しい経験をたくさんさせて頂いた実り多い1年でした。事務所の運営に多くの時間を割いてくださった滝担当副幹事を始め、地区委員会の方々のご指導と励まし、地区の皆様のご協力にお礼申し上げます。ありがとうございました。

ガバナー事務所 事務局員 和田千登世

ロータリー知識「ゼロ」からのスタートより約2年、100mダッシュで駆け抜けてきたような気が致します。

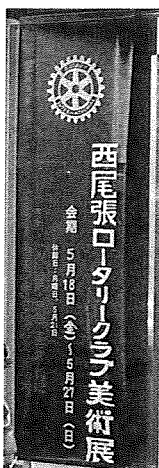
至らない部分は多々あったかと存じますが、「成せば成る」を実感しましたと共に、皆様の暖かい励ましがあってこそ心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

分区行事報告

西尾張分区

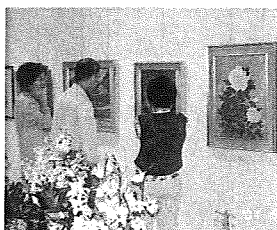
3回目を迎えた美術展

ホスト 西春日井RC



5月18日(金)より27日(日)まで9日間、西尾張分区9クラブの会員と会員家族による第3回的美術展を実施した。前2回は稲沢クラブ主催による有志の作品展示であったが、今回からは地区行事として会長補佐クラブの西春日井が担当、地区内春日町に平成11年新築されたはるひ美術館で開催した。

前2回と略同数の59名が出席、内訳は絵画22名39点、写真15名39点、書3名6点、陶芸その他手芸工芸作品20名総数で130点強の賑やかな展示となった。特に女性陣の多彩な素人離れの作品が目をつけた。写真では一宮クラブの名誉会員である谷一宮市長の山岳写真や最近流行のデジタルカメラによる作品など、絵画では3月に尾西市の三岸節子記念美術館で開催された木曾川を描く公募展で入賞買い上げとなった作品など、平素の精進振りが伺われる力作が多く見られた。同美術館は五条川沿いの緑地帯で町役場や運動場、子供達がゴーカート場などが隣接して居り恵まれた環境にあるが、新設美術館で常設展示が無いため知名度が少ない。ロータリー展の様な催しによって地域の人達との交流が増えればと関係者に喜ばれている。



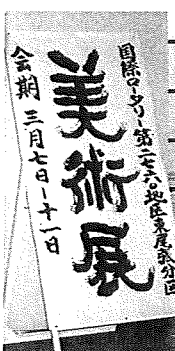
次年度は津島クラブの担当であるが、時期、場所などは未定。
(文責 稲沢クラブ 遠藤正昭)



東尾張分区

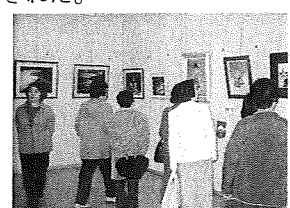
坂田G補佐らテープカット

「環境問題 絵てがみ展」も併催
ホスト 江南RC



去る3月7日(水)から11日(日)まで、東尾張分区10クラブは坂田G補佐のもと、江南RCのホストで初の「会員美術展」を開催した。展示会場の「江南市民文化会館」には、家族を含め、絵画、書、工芸、写真等、出展者70名、作品100余点が展示された。

西尾張分区の美術展に触発され、昨秋から準備を重ね、各クラブ社会奉仕委員長の協力で、文化を通じて「ロータリー」の側面を市民の皆様に披露した。オープニングは伊藤地区幹事、坂田G補佐、ホストクラブ岩田会長によるテープカットで華やかに開催。会場の「江南市民文化会館」には、他の各種催しもあり、大勢の見学者が訪れ、成功裡に終了した。尚、開催日程に並行して、同会場で「環境問題 絵てがみ展」を開催した。江南RCでは、地球規模で叫ばれている環境問題を小学4年生の目から「絵てがみ」を通じての啓蒙を行った。子供達の鋭い目が大人の怠慢に警告する「絵」「てがみ」があり、「地球を美しいまま子孫に残す責任」を痛感した。この展示は、テレビ、新聞等にも取り上げられ、今更ながら「環境問題」の関心の深さを知る機会にもなった。(O)



佐、ホストクラブ岩田会長によるテープカットで華やかに開催。会場の「江南市民文化会館」には、他の各種催しもあり、大勢の見学者が訪れ、成功裡に終了した。尚、開催日程に並行して、同会場で「環境問題 絵てがみ展」を開催した。江南RCでは、地球規模で叫ばれている環境問題を小学4年生の目から「絵てがみ」を通じての啓蒙を行った。子供達の鋭い目が大人の怠慢に警告する「絵」「てがみ」があり、「地球を美しいまま子孫に残す責任」を痛感した。この展示は、テレビ、新聞等にも取り上げられ、今更ながら「環境問題」の関心の深さを知る機会にもなった。(O)



「ガバナー月信」編集を担当して

地区副幹事 大森 春彦

第1号(2000年7月1日発行)の表題「きっちり 平凡 誠実に やるべきこと 地味に 他人のために」でスタートした「月信」は、本日無事最終号(第13号)※を発行する事が出来ました。

本来「月信」は、ガバナーからクラブ会長・幹事さんへの「ラブレター」であり、唯一のコミュニケーションです。その基本のもと、各クラブに「全員購読」をお願いし、それに近い購読を達成する事が出来、深く感謝しています。

福田ガバナーのロータリー観、人生観を披露しながら、会長・幹事さん、ひいては全会員の皆様と「ロータリー」を共有すべく、そして「個」の想いを尊重しながらの編集でした。それは2000年度内(第1号～第7号)のオピニオン「20世紀からの贈り物」、そして21世紀(第8号～第12号)に入ってからオピニオン「21世紀の扉を拓く」に如実に表れているかと思えます。視点、切り口こそ違いはありますが「ロータリー」に対する熱き想い、そして憂い、警告、生真面目とユーモア、ウィットの中に方向が見え出されます。又、地区大会でのパネルディスカッション「ロータリーを斬る! ～ロータリーを愛するが故に～」を第一弾に、紙上では第2弾「叩けばよさらば開かれん? 21世紀のロータリー 四美女会の思い」(第9号)、そして第3弾の男女8名による座談会(第12号)を通じて「開かれたロータリー」を体感しました。これには地区大会・座談会の名モデレーター上村晋也氏の深い英知と鋭い洞察力に負う所が多い。

長くて短い一年、毎号追われながら今日を迎えました。邪道とは思いつつも、会員の皆さんに少しでも読んでいただけたらと書体や見出しに苦慮。紙面作りの難しさを痛感。

最後になりましたが、編集者の怠慢で原稿依頼が遅くなったり、急なお願いやら投稿頂きました会員の皆様には御協力ありがとうございました。そして、わがままな割り付け、記事の遅れをカバーしてくれました「大和企画(株)」の伊藤社長(犬山RC会員)、G事務所の和田事務局長、協力に感謝しています。

一年間ご愛読ありがとうございました。

※ 8月10日をめざして号外と記録集を発刊予定。

新入会員報告 4月分・5月分 (5月31日現在報告分)

ご入会おめでとうございます

分 区	ク ラ ブ	氏 名	生年月日	会 社	職 業 分 類
東 尾 張	尾 張 旭	前田 憲輝	1958. 8. 29	(株)東海銀行 (尾張旭)	商業銀行
西三河中	岡 崎	倉田 長秀	1944. 10. 30	(株)クラタ産業	自動車部品製造
	//	常川 彰	1951. 7. 10	(株)東海銀行 (岡崎)	商業銀行
	//	高村 有治	1947. 6. 9	(株)西武百貨店 (岡崎)	百貨店
	豊 田	米山 和浩	1960. 3. 25	(株)寿陸運	貨物自動車運輸
	岡 崎 東	本間 勇雄	1954. 9. 18	(株)マルトヨ	O A 機器販売
	//	鷹巣 真一	1966. 4. 30	桂野	イベント企画
	豊 田 中	中垣 幸春	1960. 12. 23	中垣建設(有)	住宅建設
西 三 河	一 色	鳥居 光	1957. 8. 12	アイサン工業(株)	海苔機械販売
	西尾KIRARA	高木 政久	1945. 11. 10	西尾製粉(株)	製粉

新ポール・ハリス・フェロー 3月分

伊藤 満琉様 (名古屋北) 石川 勝彦様 (半田南) 榊原 徳三様 (半田南)
 安藤 明雄様 (名古屋栄) 大河 直樹様 (田原) 杉本 勇様 (名古屋名南)
 西村己恵子様 (名古屋名南) 近藤 智洋様 (名古屋名南) 大塚 嘉彦様 (名古屋名南)
 大竹 勝彦様 (豊橋南) 亀井 了様 (東海) 松坂 良太様 (豊橋)

特別寄付報告

2001年4月分

財団法人ロータリー米山記念奨学会 理事長 末永 直行

クラブ名称	クラブ扱入金額	個人扱入金額	法人扱入金額	合 計	件 数
知 立	0	210,000	0	210,000	3件
蒲 郡	0	60,000	0	60,000	2件
東 知 多	0	500,000	0	500,000	6件
刈 谷	0	300,000	0	300,000	1件
小 牧	0	500,000	0	500,000	13件
名 古 屋 名 駅	500,000	0	0	500,000	1件
名 古 屋 錦	300,000	0	0	300,000	1件
名 古 屋 和 合	0	330,000	0	330,000	11件
岡 崎	0	110,000	0	110,000	11件
瀬 戸	0	30,000	0	30,000	1件
瀬 戸 北	0	300,000	0	300,000	1件
新 城	0	300,000	0	300,000	1件
豊 橋 北	0	180,000	0	180,000	11件
豊 田	900,000	720,000	0	1,620,000	25件
豊 田 東	0	450,000	0	450,000	3件
地 区 合 計	1,700,000	3,990,000	0	5,690,000	91件

◆ 計 報 ◆ (謹んでお悔やみ申し上げます)

長山 修司様
大矢 陽久様

小牧ロータリークラブ
名古屋名駅ロータリークラブ

平成13年 5月30日
平成13年 6月 4日



会員数および出席報告



第2760地区

平成13年4月分

区分	クラブ名	出席率	例会数	会 員 数			
				2000年 7月1日	当月末	増減	女性 会員
南尾張分区	半 田	99.69	4	73	68	-5	0
	常 滑	98.39	4	72	71	-1	0
	東 海	93.40	4	48	53	5	1
	東 知 多	94.40	4	65	66	1	0
	半 田 南	98.71	4	65	63	-2	0
	知 多	96.15	4	41	42	1	0
	6RC	96.62	24	364	363	-1	1
西尾張分区	一 宮	98.46	4	85	82	-3	0
	津 島	99.20	3	77	83	6	0
	尾 西	98.66	4	59	55	-4	0
	一 宮 北	95.18	4	72	72	0	1
	稲 沢	99.19	4	62	64	2	0
	あ ま	98.12	4	94	96	2	0
	西 春 日 井	97.86	4	60	59	-1	2
	尾 張 中 央	98.90	4	54	55	1	0
	一 宮 中 央	96.35	4	70	70	0	5
	9RC	97.99	35	633	636	3	8
東尾張分区	瀬 戸	100	4	84	86	2	0
	犬 山	100	4	83	84	1	0
	江 南	100	4	73	76	3	0
	小 牧	96.48	4	74	72	-2	0
	春 日 井	99.70	4	82	84	2	3
	尾 張 旭	99.10	4	59	56	-3	0
	名古屋空港	95.00	4	58	61	3	0
	瀬 戸 北	100	4	71	74	3	0
	岩 倉	100	4	36	35	-1	0
	豊山一城北	96.71	4	44	44	0	2
	10RC	98.70	40	664	672	8	5
西名古屋分区	名 古 屋	94.60	4	215	215	0	0
	名 古 屋 西	93.68	4	140	138	-2	0
	名 古 屋 南	99.20	4	120	125	5	0
	名古屋みなと	100	4	118	118	0	0
	名古屋東南	97.22	4	79	82	3	4
	名 古 屋 中	99.39	4	153	154	1	0
	名古屋瑞穂	96.90	4	97	95	-2	0
	名古屋大須	99.67	4	92	81	-11	0
	名 古 屋 栄	95.73	4	85	84	-1	0
	名古屋名駅	97.33	4	111	115	4	1
	名古屋名南	94.53	4	90	89	-1	17
	名古屋西南	97.75	4	60	58	-2	8
	12RC	97.17	48	1,360	1,354	-6	30

区分	クラブ名	出席率	例会数	会 員 数			
				2000年 7月1日	当月末	増減	女性 会員
東名古屋分区	名 古 屋 北	97.60	4	111	110	-1	0
	名 古 屋 東	97.45	4	105	102	-3	0
	名古屋守山	96.75	4	79	77	-2	5
	名古屋和合	100	4	108	109	1	0
	名古屋名東	100	4	82	79	-3	8
	名古屋名北	99.04	4	67	67	0	6
	名古屋千種	97.17	4	70	69	-1	5
	名古屋昭和	100	4	74	76	2	0
	名 古 屋 錦	98.98	4	57	52	-5	12
	名古屋東山	98.50	4	61	67	6	0
	10RC	98.55	40	814	808	-6	36
東三河分区	豊 橋	98.08	4	130	127	-3	4
	蒲 郡	94.91	4	74	71	-3	0
	豊 橋 北	98.65	4	110	109	-1	2
	豊 川	98.81	4	77	78	1	0
	田 原	98.69	4	70	73	3	1
	豊 橋 南	97.54	4	66	70	4	0
	新 城	96.21	4	69	67	-2	0
	渥 美	90.62	4	61	59	-2	0
	奥 三 河	92.80	4	37	35	-2	2
	豊 川 宝 飯	98.66	4	64	63	-1	0
	豊橋ゴールデン	99.64	4	76	72	-4	0
	田原パシフィック	97.95	4	72	75	3	0
	豊 橋 東	100	4	50	51	1	0
	13RC	97.12	52	956	950	-6	9
西三河中分区	岡 崎	99.75	4	107	114	7	1
	豊 田	99.64	4	84	91	7	0
	岡 崎 南	96.87	4	108	110	2	3
	豊 田 西	99.74	4	102	100	-2	0
	岡 崎 東	96.50	4	97	102	5	0
	豊 田 東	98.06	4	95	94	-1	0
	岡崎城南	98.26	4	74	72	-2	0
	豊田三好	93.00	4	30	29	-1	2
	豊 田 中	100	4	53	55	2	4
	9RC	97.98	36	750	767	17	10
西三河分区	刈 谷	100	4	99	103	4	0
	安 城	93.96	4	73	69	-4	0
	西 尾	100	4	78	80	2	1
	碧 南	97.39	4	78	82	4	0
	一 色	99.50	4	50	50	0	0
	高 浜	98.96	4	50	52	2	3
	知 立	100	5	60	64	4	0
	西尾KIRARA	97.02	4	67	67	0	0
	三 河 安 城	95.40	4	42	43	1	1
	9RC	98.03	37	597	610	13	5

地域内クラブ数 78RC	2000.7.1会員数	6,138名	増 加 会 員 数(累計)	306名
	当 月 末 会 員 数	6,160名(内女性104名)	減 少 会 員 数(累計)	284名
	当 月 平 均 出 席 率	97.77%	差引純増会員数(累計)	22名

毎年6月が「ロータリー趣味・職業別親睦活動月間」に指定されました。

ロータリアンが趣味・職業を通じて親睦・奉仕を行う国際的グループ「ロータリー趣味・職業別親睦グループ(RRVF)」が昨年11月の理事会で、毎年6月を活動月間とする事が承認されました。

表紙に寄せて

福田ガバナーが折にふれ、読んだり、見たり、聞いたりの中で、平易な内に含蓄のある言葉を編集スタッフで選んだものです。

●書家・画家プロフィール
書：富永奇洞

富永正明・号奇洞／篆刻・書道家
奇洞会会主・東海書道芸術院副会長
江南市教育委員長／文部大臣・県教育表彰(社会教育功労)
1998～1999年度江南RC会長

画：岩田明生

岩田 明・号明生／洋画家
江南市文化協会理事
昭和54年以後白日会連続出品
白日賞／文部大臣賞／
現在白日会会員